

多目的ホールに関するご意見一覧（11月9日期限）

資料2

	①主体	②規模	③回数	④時間帯	⑤形態
1	萩小で将棋をしているおっちゃん	30人程度	ほぼ毎日	午前+午後	おっちゃんの見解を聞いて行政が検討
2	フィールドワーク等で学習に来る学生	50人180m <sup>2</sup> ※参考（一社）富山県農協会館HP	週数回程度	午前+午後+夜間	一般的な会議、講義スタイル
3	全市民が使える	300人規模のホール、10~20人用の会議室、間仕切りをはずせば倍・3倍と広がる	ほぼ毎日	午前+午後+夜間	貸しホール
4	だれでも	100人	ほぼ毎日	午前+午後+夜間	常時そこにいられる場所（長期滞在者をどうするか問題）（道の駅的宿泊？）
5	労働者	100人	ほぼ毎日	午前+午後+夜間	テーブル、いすが移動できる。
6	町会員の方、中高年？	15~20人	月数回程度	午後	その方にあつたように身体を動かす
7	地域の住民	萩小の森規模に囲碁将棋のスペース、雑談スペース、TV、映画などを流す休憩スペース等他イベントができる	ほぼ毎日	午前+午後+夜間	②のように使う
8	今まで地域に足を運ばれなかった人たち、主に近隣（同区内、隣接区）	具体的なイメージではないが蜜ではないゆったりできる広さ	ほぼ毎日	午前+午後	北側スペース全般と混同している所があるが新しいセンター全体として隣接地域から抵抗なく人が来る事が望ましい
9	一般の人	100人	月数回程度	夜間	有料のコンサート、演劇等
10	子ども	50人	週数回程度	午前+午後	子ども会議、ワークショップ、ダンス、音楽（バンド）、研究、映画、子供の意見、交流、発表会、勉強

	①主体	②規模	③回数	④時間帯	⑤形態
11	若者、青年	50人	週数回程度	午後+夜間	連絡検討会議、就職体験会、企業立ち上げプロジェクト会議、交流、各種クラブ（音楽、ダンス、映画、勉強）
12	色んな問題に関心のある人	100人	月数回程度	夜間	勉強会、講演会
13	地域の人	入れるだけ	災害の時		避難所として
14	図書施設は静安を求める人たちの場と 思います	50人	ほぼ毎日	午前+午後	本や資料室を読む
15	生活困窮者、お金を必要としない居場所	他の機能と複合でも良い	ほぼ毎日	午前+午後	屋内スペース（冷暖房有）、屋外スペース（オープンスペース）
16	責任をもって使用できる人	30~50人	ほぼ毎日	午後	演芸、稽古場、会議
17	萩小の森利用者を含む地域住民	300人	ほぼ毎日	午前+午後	
18	寄せ場交流会参加者	200人	年2回	午前+午後+夜間	学校型の椅子の配置
19	こども達が自由に見聞きできる場所	20~30人	月数回程度	午前+午後	音楽や紙芝居、若い人の芸術をみせてあげる
20	まち歩きスタディ（フィールドワーク）の参加者（大学生、市民）	最大40人	週数回程度	午前+午後	パワポや動画を使え、地域の歴史やまちづくり関係の資料、書籍がそろっている部屋（マイクやコピー機も）
21	子育て中の母親、父親	30人	月数回程度	午前+午後	子育て相談、交流会、交換会、仕事相談会、仕事づくり、発表会
22	だれでも	300人	申込制	午前+午後+夜間	発表会、後援会、イベント（階段状の座席とステージ）
23	実演施設、パフォーマーと観客の場	50~100人	月数回程度	午後+夜間	演芸場、ステージ
24	子育てしている家族	50人	月数回程度	午前+午後+夜間	

	①主体	②規模	③回数	④時間帯	⑤形態
25	地域の単身高齢者		ほぼ毎日	午前+午後	屋内：冷暖房、高齢者に優しい 屋外：季節感を感じながら
26	仕事を求める求職者		ほぼ毎日	午前+午後	オープンスペースで就労だけではなく生活福祉に関する情報を得る場
27	イベント（No.9の意見を聞いて）音楽、芝居など有料があっても無料があってもいい	100人程度	月数回程度	午前+午後	現住人と他地域から来た人たちの接点として。無料コンサートならば地域の人達も来易いし、仕事帰りの人が立ち寄れるのも望ましい。モデル：曾根崎警察B1で行っているコンサート。エルおおさかのランチタイムコンサートなど。
28	基本的には50年この町に住み続けている人を優先すべき	30~50人	ほぼ毎日	午前+午後	気兼ねなく使用できる
29	地域住民+新今宮駅利用者、災害時の一時避難、待機場所	エリア全体	災害時		
30	地域の住民	40~50人	月数回程度	2~3時間	地域の集会、無料で使える場所
31	親子（乳児や未就学児）		月数回程度	午前+午後	乳児など連れていけないので、お茶がまったりできるスペース。親が目の届く範囲で子どもたちがあそんだりゴロゴロできる場所。親子ヨガなど。
32	・子育て世帯の人たち ・子育て支援団体 (交流、情報交換、リサイクル、リユース)	100人?	月数回程度	午前+午後	フリーマーケットを開催する。各家庭で不要になったものを販売等して、その中で子育て交流等を行う。
33	不登校のこどもが勉強したり、過ごしたりできる場所	15人程度	週数回程度	午前	勉強や自分のやりたいことに取り組めるように（読書など）
34	高校生や就労をめざす若者	10~15人	月数回程度	夜間	地域で働いている大人と対談したり交流できるように

	①主体	②規模	③回数	④時間帯	⑤形態
35	地域のいろいろな居場所や団体の人たちや子どもたち。 また、通りすがりの人たちでも立ち寄れるように	600～650㎡ぐらい	月数回程度	午前+午後	地域の様々な拠点で活動している子どもや若者、障がい者、高齢者などの作品展を定期的に行えるギャラリーのような使い方ができたらいいと思う。
36	中・高校生		月数回程度	午後	バスケットボールをしたりバトミントンや外で風を受けないような室内遊戯。ダンスなど。卓球など。
37	若者（十代～二十代）	10～20人	月数回程度	午後+夜間	集いの場
38	西成区および近隣区の子育て世帯の人たち	700㎡ぐらい	月数回程度	午前	定期的なフリーマーケット開催 ママたちの特技を生かしたワークショップ・講座の実施
39	地域の若者や子ども、親子	普段は20～30人程度 発表時には150～200人ぐらいは入れたらよい	週数回程度	午後+夜間	音楽や合唱、ダンスなどを練習できる教室として週1～使って、年に数回発表の場として演奏会やライブを行う。
40	中学校や高校に行けてない子供たち、 また、家で勉強する場がない子どもたち	20人ぐらい？	ほぼ毎日	午後	自習室として開放する。何人かボランティアで勉強をみれる人を配置して質問に答えられるようにする。
41	地域の任意団体	30～50人ぐらいが広々と練習や活動に使えるぐらい	週数回程度	夜間	夜間に自治体や民間で活動している団体（エイサーや空手や他のスポーツなど）が無料または低額で使用できるとよい

No.31～41は、11月15日に追加。